

p.33 ①光

●白色光とは 右側「プリズム」の図の上、余白部分に以下を追記

●プリズムを通った光が波長毎に分かれる理由

波長の違いによって光の屈折角度が異なるからです。

- ・長波長の光：屈折角度が小さい（小さく曲がる）
- ・短波長の光：屈折角度が大きい（大きく曲がる）

p.39 「色の三属性+清濁」

●色の三属性・四属性 の説明文の訂正

訂正前) パーソナルカラーにおける色の属性とは・・・



訂正後) パーソナルカラーにおける色の属性とは「色相」「明度」「彩度」「清濁」の4つの属性を指し、これらにより色を分類します。「色相」「明度」「彩度」があれば色を表示でき、これを「色の三属性」といいます。

パーソナルカラーでは顔の変化を見るために必要な「清濁」の属性を加えて「色の四属性」としています。「清濁」は主に肌の質感、フェイスラインなどの見え方に影響を与えます。

p.40 色相

色相環のしくみ の説明文の一番下に1行追記

訂正前) 白色光を分光すると・・・「純色」といいます。*紫や赤紫などは、長波長の赤と短波長の青紫の混合で見えます。

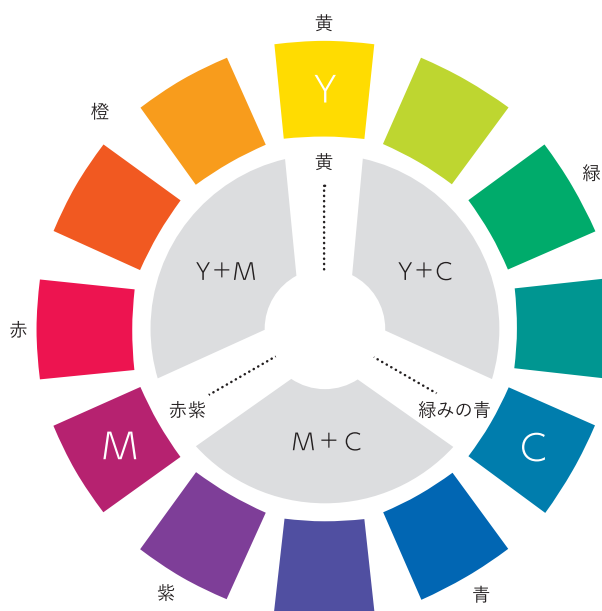


訂正後) 白色光を分光すると・・・「純色」といいます。*紫や赤紫などは、長波長の赤と短波長の青紫の混合で見えます。

色相を表すときには、^{だいたい}赤、^{しきそうめい}橙（オレンジ）、黄、緑、青、紫といった色相名を用います。（参考:p.59）

p.40 色相環のしくみ の説明文の右下の色相環の図の訂正

色相環に、「赤、橙、黄、緑、青、紫」の色相名を追加



p.49 ●彩度は、他の属性と共に変化する場合が多い 本文 4-5 行目

訂正前) 明度はほぼ同じですが、・・・、彩度と清濁の違いがあります。(p.52・53 参照)



訂正後) 明度はほぼ同じですが、・・・、彩度と清濁の属性に違いがあります。(清濁は p.52・53 参照)

p.58 PCCS

●配色を学ぶうえで有効なものさし 本文 1 行目

訂正前) PCCS は Practical・・・。配色しやすいシステム



訂正後) PCCS は Practical・・・。配色をしやすいシステム

p.83 ●セパレーション の左下 「ミミズク君」の吹き出しの言葉

訂正前) アクセントカラーは小面積で目立つけど・・・という違いがあるよ。



訂正後) アクセントカラーは色の配置は自由だけど小面積の部分に注目させる効果があり、セパレーションカラーは色と色の間に配置して色を区切る効果という違いがあるよ。

※以上の内容に加えて、色彩用語のうち必要なものに、ふりがなを加筆しました。